

(別紙5)

整 理 番 号 2023P-180

補 助 事 業 名 2023年度 就労支援機器の整備 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人 小国町社会福祉協議会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

小国郷内の耕作放棄地を活用して大豆や野菜を栽培している。収穫した大豆を原料にした豆腐等の大豆製品を製造販売。その過程で排出されるおからや規格外の野菜を餌に、地鶏「九州ロード」による採卵事業を行っている。地鶏の鶏舎に堆積する鶏糞は、耕作放棄地に散布され大豆等の肥料になる。

また、採卵を終えた地鶏「九州ロード」を廃鶏にして、地鶏料理の食材として活用するために食肉加工場の整備が必要であった。このために、地鶏料理の新メニューを開発して提供することで、事業所の収益アップと障がい者の所得向上につながる。食肉加工場が稼働することで、持続可能な循環型農業を完成させることが事業の目的である。

(2) 実施内容



食肉加工場 玄関の標識



食肉加工場内の機器



食肉を加工している作業場面

地鶏「九州ロード」は、食肉加工場で精肉され、農福連携レストラン「天空の豆畑」の地鶏料理「おぐにん親子丼」「おぐにん南蛮地鶏蕎麦」「おぐにん地鶏蕎麦」の食材になる。また、イベントでは、地鶏の炭火焼きの材料になる。また、農産物販売所「結菱（むすびし）」で、販売される。



おぐにん親子丼



地鶏の炭火焼き



農産物販売所 店頭販売

2 予想される事業実施効果

食肉加工場が完成したことにより、食肉加工料の節減が可能になり地鶏「九州ロード」を使用したメニューの原材料費を抑え収益を確保することができる。これが、障がい者の工賃増に寄与することが予想される。また、農産物販売所「結菱」での販売が可能になり、収入アップにつながる。

また、農福連携や地域共生社会、SDGsの推進事業として注目されており、雑誌、マスコミの取材、講演会などの機会が増えることが予測される。

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物



地鶏料理チラシ・ポスター 表紙



チラシ 裏面



機関紙「木もれ陽」



令和6年1月号



農業新聞 掲載記事

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 社会福祉法人 小国町社会福祉協議会
(シャカイフクシホウジン オグニマチシャカイフクシキョウギカイ)
住 所 : 〒869-2501
熊本県阿蘇郡小国町宮原1530番地2
代 表 者 : 会長 佐藤旨人 (サトウムネト)
担 当 部 署 : サポートセンター悠愛 (サポートセンターユウアイ)
担 当 者 名 : 統括施設長 椋野正信 (ムクノマサノブ)
電 話 番 号 : 0967-46-2616
F A X : 0967-46-3514
E - m a i l : mukuno@with-yuuai.or.jp
U R L : <http://www.asoyamabiko.jp/oguni/>